

こたえ ねずみの すもう

ひょうじゅん 標準 ②

ねずみの すもう

(日本の むかしばなし)

むかし、山の ふもとに、おじいさんと おばあさんが
すんで いました。

ある 日、おじいさんが 山へ いくと、二ひきの
ねずみが すもうを とって いました。

一匹きは、ころころ ふとった ねずみ。もう
一匹きは、おじいさんの いえに すむ やせた
ねずみでした。

やせた ねずみは、なんども なげとばされて
しまいます。

かわいそうに おもった おじいさんと
おばあさんは、おもちを ついて、ねずみの あなの
まえに そつと おいて やりました。

つぎの 日、おもちを たべた やせた ねずみは
ちからが 出て、ふとった ねずみに
まけませんでした。

1 すもうを とって いた ねずみは、なんびきですか。

一

ひき

2 なんども なげとばされて いたのは、どちらの ねずみですか。

ア ふとった ねずみ

イ やせた ねずみ

3 おじいさんと おばあさんは、なにを つきましたか。

おもち

4 やせた ねずみが まけなく なったのは どうしてですか。

ア おもちを たべて ちからが 出たから。

イ ふとった ねずみが ねて いたから。

ウ おじいさんが てつだったから。

おうちの方へ

- 4は「おもちを たべた」と「ちからが 出て」をつなげて考えます。